

令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
(令和4年度調査)
「LIFEを活用した取組状況の把握および訪問系サービス・
居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究」

モデル事業説明書

(参加・協力のご依頼)

目的

持続可能な介護保険制度の実現に向けて、より効果的・効率的な介護保険サービスの提供について検討を進める必要があり、介護サービスの質の評価を行うことが求められています。令和3年度介護報酬改定において、LIFEへのデータ提出とフィードバックの活用によるPDCAサイクルの推進とケアの質の向上を図るため、事業所の全利用者に係る事業所単位での取組や、既存の口腔・栄養や機能訓練に関する加算等における取組に加えた利用者単位でのさらなる取組に対する評価を創設しました。

本調査研究は、令和3年度に引き続きLIFEを活用した取組についてその状況を把握するとともに、LIFE活用に関する事業所の負担の推移、フィードバックの利活用の状況とその効果及び課題等に焦点を当てて検討を行います。また、調査研究の中でモデル事業では、特に訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFE活用の具体的な活用方法及び課題を把握することを目的として実施いたします。

つきましては、訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFE活用の具体的な方法及び課題を把握することを目的に、貴事業所にはLIFEへのデータ登録、フィードバック票のケアへの活用を試行的に行っていただきたく、本モデル事業へのご協力をお願い申し上げます。

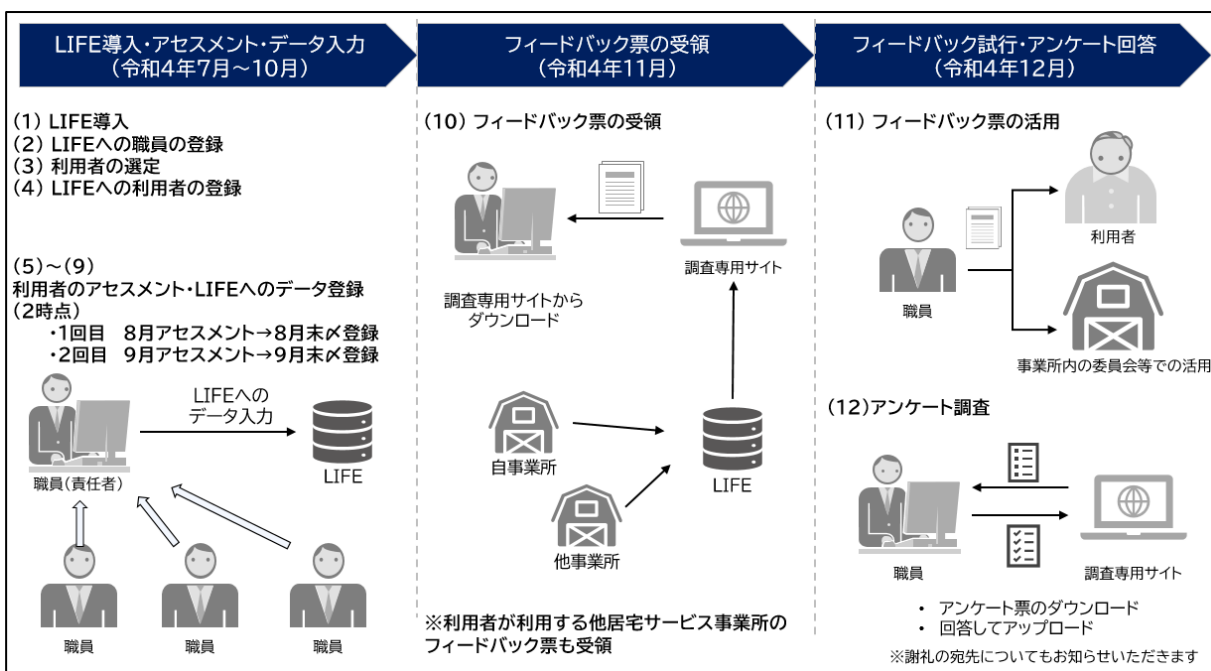
全体の流れ

本事業の調査期間は 2022 年 7 月～2023 年 4 月です。
本事業では、貴事業所における対象利用者に対して、

- LIFE の利活用の準備（導入、職員・利用者の登録）
- 利用者へのアセスメントの実施（2 時点分）
- LIFE へのアセスメント結果の入力
- アセスメント結果をもとに作成されたフィードバック票の受領
- フィードバック票を活用したケア計画・ケアプランの検討・フィードバック

を実施していただきます。

実施後、アンケートにご協力いただき、LIFE 活用に向けた課題や可能性についてご意見を頂戴し、調査結果を報告書としてまとめる予定です。



※アンケートにご回答いただいた内容等について、12月～3月の間にオンライン会議等にてヒアリングをお願いすることがあります。合わせてご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

。

ご依頼事項

本モデル事業の実施に際し、貴事業所をお願いしたい内容について記載いたします。なお、既に LIFE の導入等がお済みの場合、(1)～(4)のうち実施済みの工程は省略してください。

(1) LIFE の導入

以下の WEB サイト (LIFE のホームページ) にアクセスしてください。

<https://life.mhlw.go.jp/>

新規登録 ボタンをクリックし、画面に従って新規利用の手続きを進めてください。

※WEB サイト上では「**新規利用登録は毎月 25 日締めです。**」と記載がありますが、**本事業にご参加いただく皆様には申請あり次第、FAX 又ははがきを発送する予定ですので、25 日を待たずに申請をお願いいたします。**

※LIFE のアカウントは事業所番号 1 つにつき 1 つ発行されますので、**同じ事業所番号で他のサービスを提供しているかつ既に LIFE の利用登録を行っている場合**、登録済みのアカウントで訪問系のサービスを登録いただくことになりますので、**新規申請は不要です**。サービスごとにご担当者が異なる場合には、おそれいりますが LIFE の利用登録を行っているサービスのご担当者にお問合せください。

申請後、FAX 又ははがきが届きます。LIFE を利用するためのプログラムの入手方法やアカウント情報等が記載されていますので、LIFE 操作マニュアル (<https://life.mhlw.go.jp/help>) の導入手順書 (p.29 等) をご参照いただき、LIFE を導入してください。

(2) LIFE への職員の登録

初回ログイン後、LIFE を利用できる職員のアカウントを登録いただきます。アカウントには、

- ・ 管理ユーザー (導入手順書 p.33) : 操作職員や利用者の登録を行うためのアカウント
- ・ 操作職員 (導入手順書 p.34) : アセスメントの様式に入力を行うためのアカウント

の 2 種類があります。初回ログイン後、まずは「管理ユーザー」アカウントを登録し、「管理ユーザー」アカウントから「操作職員」を登録してください。LIFE へのデータ入力は、「操作職員」アカウントからのみ可能なため、必ず操作職員の登録も行ってください。

管理ユーザーで操作ができない場合

「管理ユーザー」アカウントで「操作職員」を登録できない場合、暗号化キーが消えてしまった可能性があります。LIFE 導入手順書 (p.4) を参考に、暗号化キーの再設定を実施してください。暗号化キーを再設定しても問題が解決しない場合、以下の連絡先までお問い合わせください。

Email : r4life-model@ml.mri.co.jp

(3) 利用者の選定

本モデル事業で LIFE の活用を試行いただく利用者を 1 事業所につき **4 名程度** 選定いただきます。対象利用者は、可能な限り以下の 2 つの条件を満たすように選定してください。条件に該当しない場合には、お渡しできるフィードバック票が不完全なものとなる可能性があります。また、必須ではありませんが、アセスメントの間隔が 1 か月間のため、退院直後の方など差が見えやすい利用者の選定をおすすめします。

- ① **他の居宅サービスを利用・併用していて、かつ科学的介護推進体制加算を算定している方**
- ② **フィードバック票の活用終了 (～令和 4 年 12 月末) までのサービス継続が見込まれる方**

4 名を超えてご登録いただいた場合、事務局で 4 名選定しフィードバック票を作成させていただくことがあります。予めご了承ください。

(4) LIFE への利用者の登録（基本情報の入力）

対象利用者の**基本情報**を LIFE に登録いただきます。LIFE 操作マニュアル（※）の操作説明書（p.55）を参考に実施してください。LIFE への利用者の登録は「**管理ユーザー**」のみ登録可能です。なお、**利用者の「アセスメント結果」のデータ登録ではありません**ので、ご注意ください。

【利用者の基本情報（必須項目）】

- ・ 保険者番号
- ・ 被保険者番号
- ・ 氏名
- ・ 性別
- ・ 生年月日
- ・ 要介護度
- ・ サービス種類

(5) 利用者へのアセスメントの実施（1 回目）

対象利用者について、**2022 年 8 月**に科学的介護推進体制加算の**必須項目**についてアセスメントを実施してください。なお、直近で同項目をアセスメントした結果がある場合、その結果を入力してもかまいません。

【科学的介護推進体制加算の項目】

既往歴情報 服薬情報 同居家族等 <input type="radio"/> ADL（評価日及び 10 のアセスメント項目） 在宅復帰の有無等 <input type="radio"/> 栄養：身長（栄養評価日も含む） <input type="radio"/> 栄養：体重（栄養評価日も含む、身長と共通） <input checked="" type="radio"/> 栄養：低栄養状態のリスクレベル <input checked="" type="radio"/> 栄養補給法 <input checked="" type="radio"/> 褥瘡の有無 <input type="radio"/> 口腔の健康状態（通所系・居住系サービス） <input type="radio"/> 誤嚥性肺炎の発症・既往（評価日及び発症日） <input type="radio"/> 認知症の診断 <input type="radio"/> DBD13（必須 5 項目） <input type="radio"/> DBD13（任意 8 項目） <input type="radio"/> Vitality Index(意思疎通) <input type="radio"/> Vitality Index(起床、食事、排泄、リハビリ・活動)

※「○」は必須項目、「●」はフィードバックが可能な任意項目

(6) LIFE へのデータ登録（1 回目）

1 回目のアセスメント結果を **2022 年 8 月末までに** LIFE へ登録いただきます。操作説明書（p.98）を参考に実施してください。アセスメント結果を LIFE へ登録する際は、「**操作職員**」アカウントから入力してください（「管理ユーザー」アカウントからは入力できません）。

(7) 通常業務

2 回目のアセスメントまで、通常通り業務を行います。

(8) 利用者へのアセスメントの実施（2回目）

対象利用者について、**2022年9月**に再度、1回目で評価した項目のアセスメントを実施してください。同じ項目を時間を置いて2回アセスメントすることで、2時点分の分析が可能になります。

(9) LIFE へのデータ登録（2回目）

2回目のアセスメント結果を**2022年9月末までに**LIFEへ登録いただきます。（6）と同様に、実施してください。

Q：個人情報も送信されますか。

A：

- ◆ 利用者の個人情報は、各事業所・施設の端末（PC）に保存されます。LIFEに利用者の個人情報が送付されることはありません。
- ◆ フィードバック票作成にあたり、利用者の個人情報（利用者名等）を事務局に連携いただいた場合、適切に個人情報の管理をさせていただきます。
- ◆ アンケート調査では、回答者の個人情報を取得することはありません。

(10) フィードバック票の受領（11月）

(6)と(9)でLIFEに入力いただいた2時点分のアセスメント結果をもとにフィードバック票が作成されます。フィードバック票は**調査専用サイト**よりダウンロードしてください。

調査専用サイトの URL： <https://en.surece.co.jp/r4life-model/>

（※調査専用サイトは、11月頃より利用可能となる見込みです。）

【フィードバック票の種類】

- ・ 利用者フィードバック票
- ・ 事業所フィードバック票
- ・ 他事業所のフィードバック票（利用者が併用している事業所がLIFEにデータ登録している場合）

(11) フィードバック票の活用の検討（11月）

受領したフィードバック票を踏まえ、現在のケア計画・ケアプランについて、利用者の状態及び状態の変化に即したものとなっているか、変更する必要はないか等について、事業所内やサービス担当者会議等の会議体の場で検討を行ってください。その結果をアンケート調査でお伺いします。

(12) アンケート調査（12月）

(1)～(11)で実施いただいた内容について、アンケート調査にご回答いただきます。アンケート調査票はフィードバック票のダウンロードでも利用した**調査専用サイト**からダウンロードすることができます。ご回答いただいた後、回答済みのファイルを**調査専用サイト**にアップロードしてください。主に下記の項目についてご回答いただく予定です。

- ・ 本モデル事業参加前のアセスメントやデータ分析、データの利活用の状況
- ・ LIFEのデータ項目をアセスメントする際の課題
- ・ 自事業所・他事業所のフィードバック票から得られた気づき
- ・ 自事業所・他事業所のフィードバック票の併用・比較の意義
- ・ フィードバック票の読み解きに関する課題 等

※アンケートにご回答いただいた内容等について、12月～3月の間にオンライン会議等にてヒアリングをお願いすることがあります。合わせてご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

その他

(1) 本モデル事業への協力に同意しないことによる不利益について

対象となる職員及び利用者が、本モデル事業への協力に同意せず、調査に参加しなくても、いかなる不利益も受けることがないようにお取り計らいください。また、参加することに一旦同意した場合でも、その同意はいつでも撤回できること、同意を撤回しても、いかなる不利益も受けることがないようお願いいたします。

(2) 謝礼について

本事業にご協力いただいた事業所には、所定の謝礼（5,000円分の図書カードを予定）を差し上げます。なお、対象となった職員及び利用者・家族等に対しては、弊社からの謝金の支払いはありませんので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

アンケート調査票をダウンロードいただく際に、謝礼のご送付先も合わせてお伺いしますので、ご入力とアップロードをお忘れなきようお願い申し上げます。

(3) 調査結果の公表について

調査結果は、すべて個人を特定できない形で統計学的に処理します。したがって、調査対象となった皆様の情報は、個人が特定される形で外部に公表されることは一切ありません。

なお、調査結果は、厚生労働省の政策検討に活用されるほか、報告会等で公表することがあります。

(4) 個人情報の保護について

本モデル事業を通じて知り得た皆様の個人情報、及び LIFE に入力いただいた要配慮個人情報は厳重に管理し、外部に提供されることは一切ありません。ただし、事業の実施にあたって、厚生労働省・弊社及び弊社の業務委託先において必要な情報を共有させていただきます。